

主体的に学び合う児童の育成

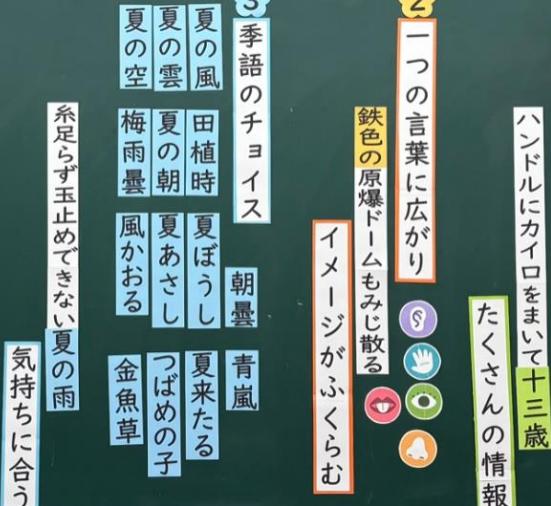
—ICTを効果的に活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指して—

第5学年 国語科

表現を工夫して俳句を作る
「日常を十七音で」

4 声に出してチェック

語順
ひびき



めあて
日常を十七音で
五月二十九日(木)
友達と交流して、
俳句をいこう。

4つのこつ

中級コース ワンランクアップ

五月二十九日(木)

200

学習の流れ
①振り返り
②めあて
③4つのこつ
④すいこう(発表会)
⑤発表
⑥投票



ポイント1

児童の実態に合わせた必要感のある課題設定

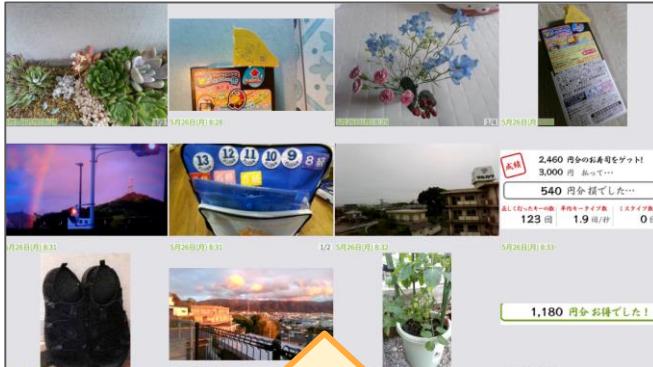
決める・集める



もくひょう



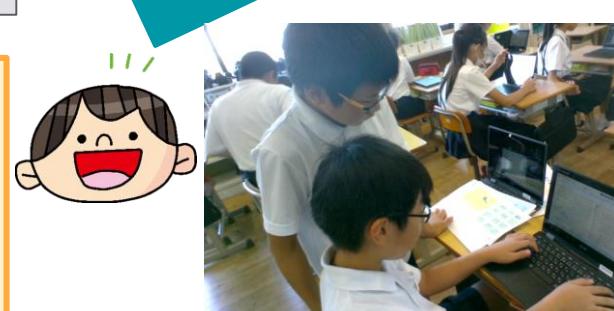
ゴール



気付いたことやおどろいたことなど、**生活の中で心を動かされたことを写真に撮り**、俳句の材料にする。

友達と交流し、俳句の表現を工夫しよう。

俳句名人になるために、友達と交流して、アドバイスし合おう！



表現を工夫して俳句名人になろう。

(みんなで投票して、初夏のナンバー1俳句を決める。)

子どもたちが心を動かされたことから目標立て、単元のゴールや学習過程を共有する。

ポイント2

対話や気付きの質を高める工夫

【言葉集め】

びっくり	赤信号	たまたま	
家族と一緒に	夕方	夏の空	
虹	くっきり	教えてくれた	見えた・見た 久しぶりに
雨上がり	きれいな	ご飯後	日曜日 おばあちゃん

キラキラ	夏の夜	家族と	金色	遠い場所
宝石	神戸	夜景	すずしい	強い風
石もくつも光っている	きれい	初めて		



【全員の俳句が見られるシート】

名前	俳句 (5 / 27)	名前	俳句 (5 / 28)	名前	俳句 (5 / 29)
2011年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

全員の俳句に目を通し、誰と対話するか考えられるようにする。



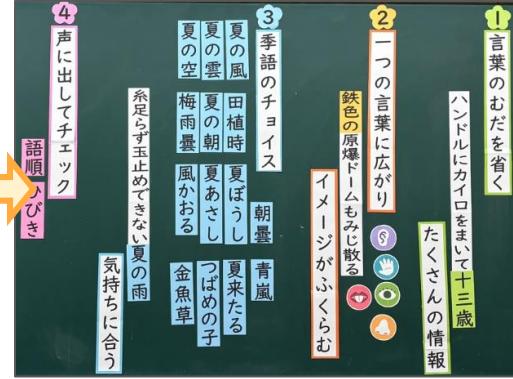
同じテーマで書いている人と話してみよう。

この俳句へのアドバイスを思いついた！

俳句が得意な人にアドバイスを聞いてみよう。

【4つのこつ】

俳句をワンランクアップさせる「4つのこつ」を提示し話し合いのポイントに。



対話によって完成した俳句

出席	俳句 (5 / 27)	出席	俳句 (5 / 29)
→	17 雨上がり夏の空に虹がういている	→	17 虹の光教えてくれたのおばあちゃん
→	15 夏の夜 石・くつ光る 神戸港	→	15 夏の夜 石・くつ宝石 神戸港
→	23 バスケ終わり 銀のエンゼル 夏の夜	→	23 バスケ後 銀のエンゼル 夏の夜
→	32 暑い夏 きれいにはいる フリースロー	→	32 暑い夏 二回決まる フリースロー
→	16 トゲトゲで、美味しいしが、食べれない。	→	16 秋の栗、季節外れの、うまい栗
			秋近し あわてんぼうの あわてぐり

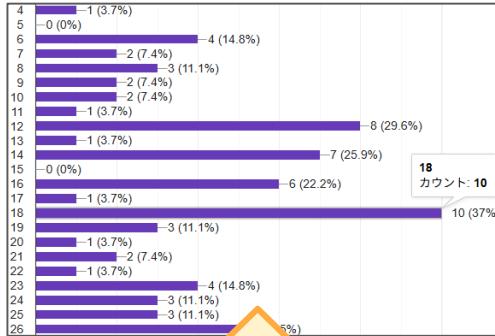
ポイント3

次の学びに生かす振り返り

【投票】

【国語】 日常を十七音で

お気に入りの俳句を3つ選んで投票しましょう。



Googleフォームで投票する。1～3位を発表することで、次への意欲付けにする。

【わたしの歳時記～夏～】



ロイロか紙
と付箋か自
分に合うも
のを選択。

今回知った季語やその意味をロイロノートに書き留める。**言葉のパレットファイ尔**にとじて蓄積していく。7月の俳句づくりで活用できるように、本などで調べ、書き加える。

【俳句名人になろう】



年間を通して「わたしの歳時記」に取り組み、語彙を増やし、次の学びに生かす。